



文化審議会著作権分科会
政策小委員会
ヒアリング資料

2024年3月13日

アジェンダ

1. YouTube について
2. 論点について
3. 質疑応答

100 以上の
国と地域で利用可能

80 か国語に対応

アップロードされる動画の量は
毎分**500** 時間以上



月間ユーザー

7,120 万人以上

2023 年 5 月時点

日本の 18 歳以上 の YouTube ユーザー

同世代人口の 66% 以上

YouTube の掲げるミッション(使命)



YouTube の使命は、
表現する場所をあらゆる人に提供し、そ
の声を世界中に届けることです。

YouTube のあり方を定義する 4つの自由

表現の自由

**情報にアクセスする
自由**

機会を得る自由

参加する自由



YouTube が信頼される動画サービスであり続けるために

開かれた場であること、
表現の自由

コミュニティを守る
責任

 OPENNESS

 RESPONSIBILITY

2つのバランスが大切



YouTube は日本の権利者とのパートナーシップを大切にしています



東京国際ミュージック・マーケット (TIMM) と連携して世界の音楽に関する知見を共有



SMASH go round
FUJI ROCK FESTIVAL
LIVE ON YOUTUBE
JULY 29・30・31

SUPPORTED BY



パンデミックに見舞われた 2020 年には Fuji Rock と連携しライブストリーミングを配信



2023年2月10日
一般社団法人日本音楽著作権協会 (JASRAC)

JASRACとGoogleがYouTubeでの音楽利用に関する新契約を締結
—パートナーシップの深化を通じて、ユーザーと権利者により充実したベネフィットを提供します—



日本音楽著作権協会 (JASRAC) と Google は、YouTube 上での JASRAC 管理楽曲の利用について、新たな許諾契約を締結しました。JASRAC は引き続き、YouTube ユーザーが多様なコンテンツを楽しむことができる環境を支えるとともに、作詞、作曲を手がける音楽クリエイター、音楽出版社等の権利者へ、より精緻な使用料の分配を実現します。

YouTube 上での JASRAC 管理楽曲の利用について、JASRAC と Google は 2008 年 10 月にパートナーシップを結び、YouTube にアップロードされた動画に関する適切なライセンス環境を確保してきました。2023 年現在、7,500 万を超える JASRAC 管理楽曲が YouTube で利用可能となっています。この新たな契約を通じて引き続き、動画クリエイターによる音楽利用の可能性を広げ、動画を視聴する多くの方が新たな音楽と出会えるようにしていきます。

また、JASRAC は新契約のもと、音楽クリエイター、音楽出版社等の権利者へのより正確な分配を図るため、YouTube のシステム「Content ID」の活用を本格的に開始します (Content ID に関する詳細は、[こちら](#)をご確認ください)。両者のパートナーシップの深化が、音楽クリエイターによる新たな楽曲の創作を支えるものと確信しています。

JASRAC は今後も、多様な音楽で満たされた豊かな社会を目指して、音楽著作権管理事業を推進して参ります。

◆Google から寄せられたコメント (敬称略)

ポール スミス (YouTube Music アジア太平洋地域 マネージングディレクター)
YouTube は、クリエイターとアーティスト及び音楽著作権者が多くのファンと繋がる場として YouTube をご活用いただきたいと考えています。この度、JASRAC とのパートナーシップにより、7,500 万を超える楽曲をクリエイターが利用できる環境が整備され、また、権利者の皆様の収益源の多様化の一助とさせていただくことを心より嬉しく思います。今後も日本の音楽業界やアーティストへの支援を継続し、皆さまの音楽を多くの人に届けるべく動画が制作されることを期待し、取り組んでいます。

JASRAC と新たな契約を締結



アジェンダ

1. YouTube について
2. 論点について
3. 質疑応答

透明性 - 1

- YouTubeの透明性

- 著作権透明性レポートを半年ごとに提供
- YouTube における著作権保護の取り組みと、利用可能なすべてのツールに関する情報を共有

Copyright Transparency Report

At YouTube, supporting the free flow of ideas and creativity is core to our mission to give everyone a voice and show them the world. With this in mind, we build tools that empower users to access, create, and share information like never before — giving them more choice, opportunity, and exposure to a diversity of viewpoints. Today, billions of logged-in users come to YouTube every month and more than 500 hours of video are uploaded every minute.

YouTube has also given rightsholders opportunities to earn money from both their own and user-uploaded content through our subscription-based and advertising-supported models. Our partnerships with record labels, performing rights organizations, music publishers, television networks, and movie studios generate substantial revenues for the creative industries. YouTube paid more than 50 billion dollars to creators, artists, and media companies in the 3 years prior to June 2022.

YouTube has over 80 million Premium and Music subscribers, including trialers, across 90 countries as of September 2022. Through Content ID, YouTube has created an entirely new revenue stream from ad-supported, user-generated content paying more than \$9 billion to rightsholders from ads alone as of December 2022, from content claimed and monetized through the tool.

\$50B | To creators, artists, & media companies over the 3 years prior to June 2022

\$9B | Ad revenue paid to rightsholders as of December 2022 from content claimed and monetized through Content ID

YouTube's Copyright Management Suite

Three main tools make up our Copyright Management Suite: the webform, Copyright Match, and Content ID. All of these tools use technology to prevent the reupload of matching content. We have invested hundreds of millions of dollars to develop and operate these tools.

	Webform	Copyright Match Tool	Content ID
Frequency of claims	Infrequent (A few times a year)	Occasional (A few times a month)	Scaled (Daily)
Resources	Self	Self	Dedicated team w/ expert knowledge
Blocks reuploads	✓	✓	✓
Auto-detects reuse		✓	✓
Eligibility	Open to everyone	Be in YouTube Partner Program or demonstrate short history of takeowns	Demonstrate need of scaled tool, understanding of copyright, and resources to manage complex automated matching system
Access	Everyone	Over 2.5 million channels	Over 9K partners
Abuse	High	Low	Low
Automation	Low	Medium	High

透明性 - 2

- 音楽パートナーやアーティストに対し、十分なデータとその管理・コントロール手段を提供。それらを可能にするツールに対する多大な投資
 - 世界中で何千ものライセンス契約を締結しているパートナーに対し、使用状況を示すレポートを 定期的に提供
 - クライアント管理ソフトウェアである[著作権管理ツール](#)の構築・管理に多大な投資
→パートナーはプラットフォーム上でのコンテンツ管理・コントロールが可能に

透明性 - 3

- 権利者が受け取るロイヤリティに関する良い理解を得るためには、レーベルや著作権管理団体とその先のアーティストや作詞作曲家等の権利者間の透明性の実現も重要
- アーティストによるYouTube の最大限の活用のために、[アーティスト向けアナリティクス](#)などのツールを追加で提供

対価の妥当性と公平性 - 1

- YouTubeが提供する対価は、有料サブスクリプションに関して、他の同種のプラットフォームと同程度の料率。加えて、広告収益を分配。
- 音楽業界全体の繁栄：その成長の原動力はデジタル
 - [IFPI](#)によると、アジアは 15.4% 増と 3 年連続で 2 桁成長を記録し、世界全体を上回る成長率
 - 特に日本を見てみると、2 年連続の成長 (5.4% 増) を記録

対価の妥当性と公平性 - 2

- 音楽のエコシステム全体を強化するツールの構築への投資を継続
- すべての権利者(個人のクリエイターから事業会社まで)においてYouTubeの Copyright Management Suite 機能が利用可能
- Copyright Management Suite の 3 つの主要ツール(ウェブフォーム、コピーライト マッチ ツール、Content ID)でContent ID 照合技術を使用
- Content ID は権利者(レーベルや著作権管理団体など)に価値を提供
 - 音楽業界への支払額の約30パーセントは、コンテンツIDにより収益化されたUGCコンテンツ

著作権用ウェブフォーム

ウェブフォームは、ほとんどのユーザーにとって、著作権に関する申し立てを提出するのに最も合理的で効率的な方法

ウェブフォームは 80 か国語に対応で、誰でも利用可能

The image shows a screenshot of the YouTube Copyright Infringement Notification form. The form is titled "Copyright Infringement Notification" and is presented in a light blue and white color scheme. It is divided into several sections:

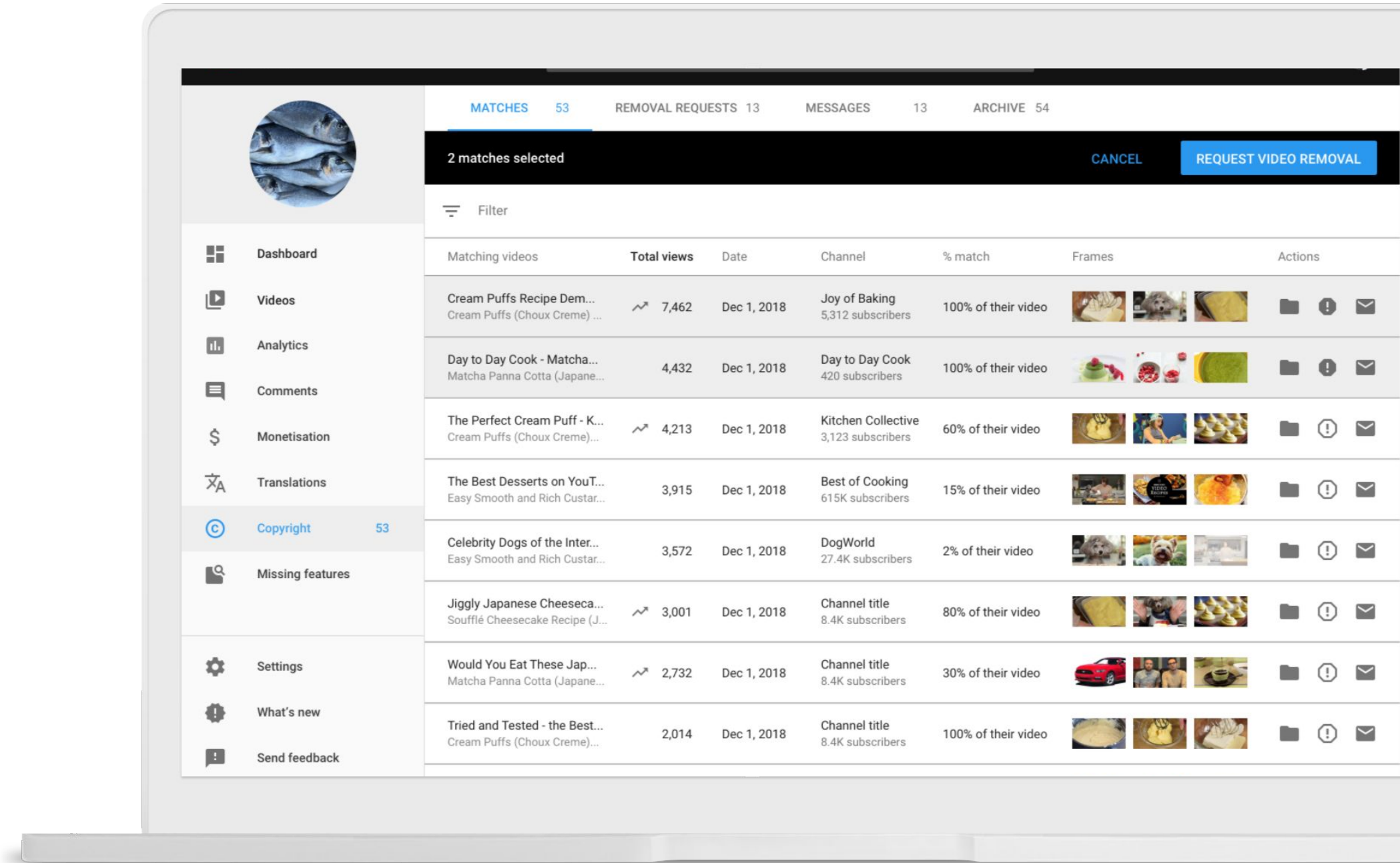
- What is the issue?**: A list of radio button options including "Inappropriate content (Nudity, violence, etc.)", "I appear in this video without permission", "Abuse/Harassment (Someone is attacking me)", "Privacy (Someone is using my image)", "Trademark infringement (Someone is using my trademark)", "Copyright infringement (Someone copied my creation)" (which is selected), and "Other legal issue (including the circumvention of technological measures, such as providing keygens or serial numbers)".
- Copyright infringement - Who is affected?**: A list of radio button options including "I am!", "My company, organization, or client" (which is selected), and "Another copyright owner".
- Videos to be removed**: A section with a text input field for "URL of allegedly infringing video to be removed:", a "Describe the work allegedly infringed:" label, and a dropdown menu for "Please select one:". Below this is a "+ Add another video" button.
- To submit a DMCA complaint, please complete the following required fields.**: A section titled "Tell us about yourself" with input fields for "Copyright Owner Name (Company Name):" and "Street Address:".

コピーライト マッチ ツール

Content ID のマッチング技術を駆使して YouTube 上の動画の再アップロードを発見するコピーライト マッチ ツールは、250 万以上のチャンネルで利用

YouTube に参照ファイルをアップロードするのではなく、最初に YouTube に動画をアップロードしたクリエイターに対して、後続のアップロード動画が表示

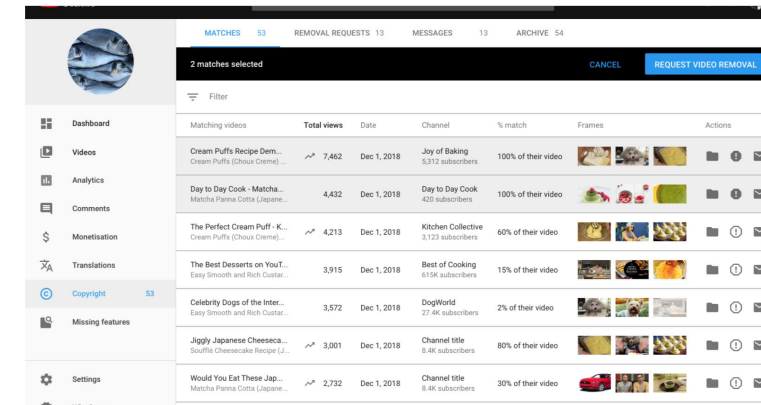
その後、クリエイターは一致する動画を確認し、取り除きたい動画の削除を申し立てること、また、アップロードしたユーザーに連絡することが可能



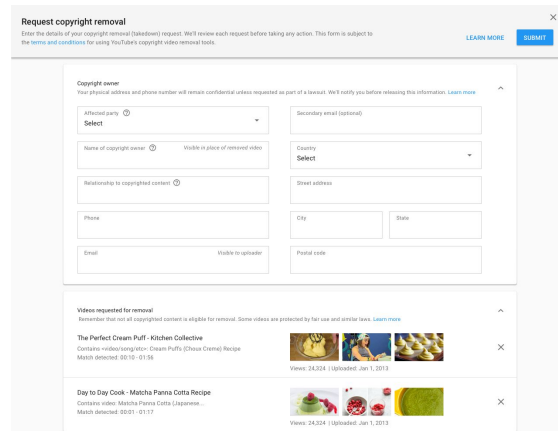
コピーライト マッチ ツールの仕組み



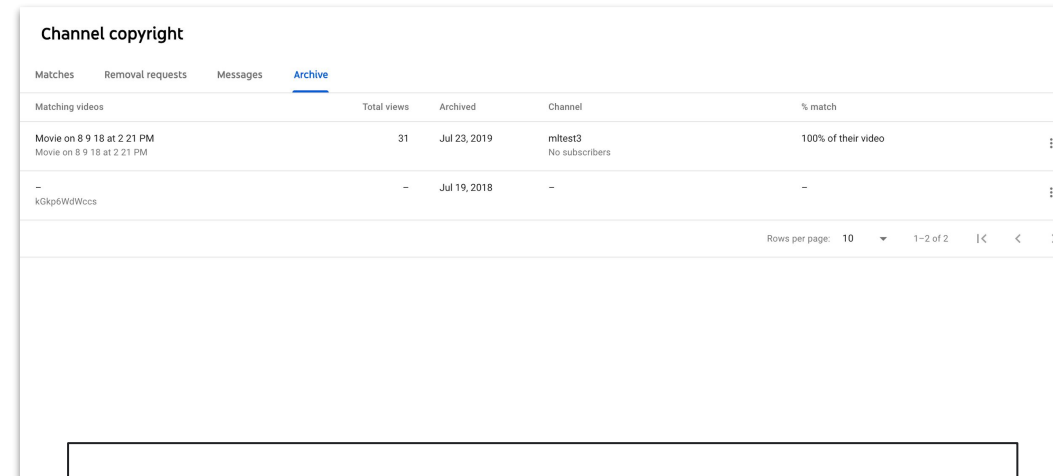
公開または非公開モードで動画をアップロードする



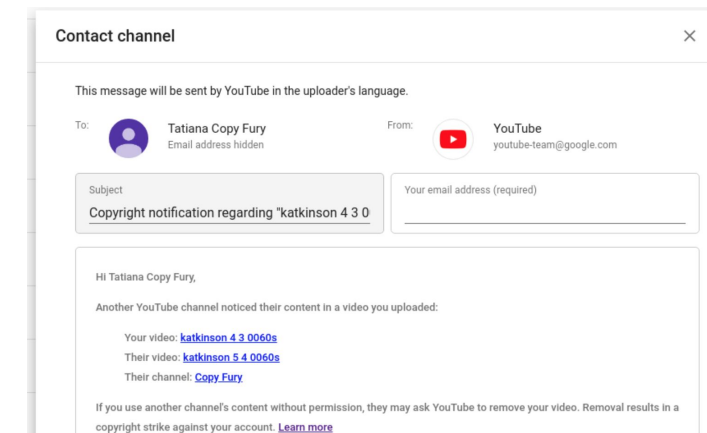
コピーライト マッチ ツール ダッシュボードを使用して一致を確認して分類する



一度に最大 50 本の動画を選択し、削除リクエストを送信する



一致する動画をアーカイブする



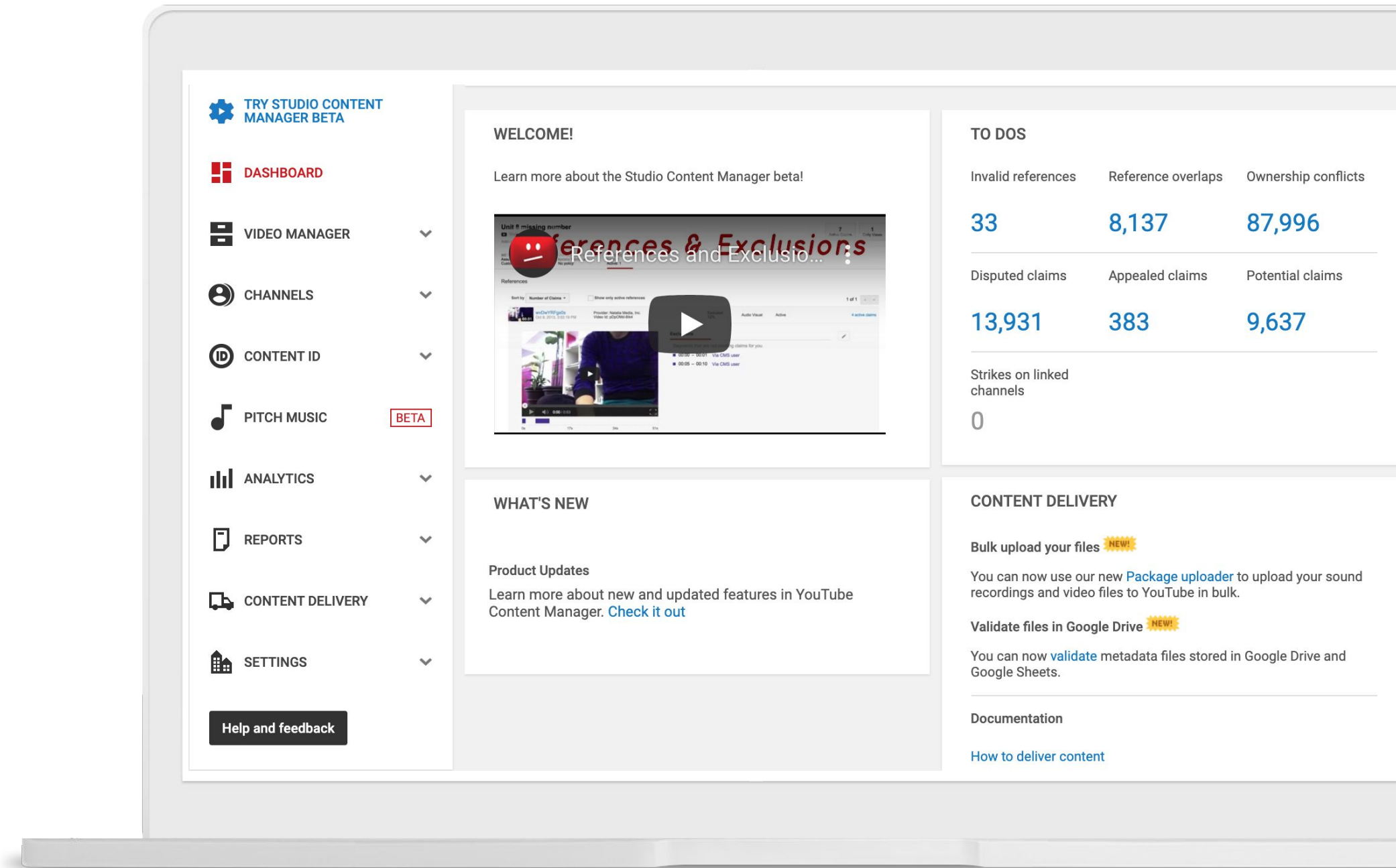
アップロードしたユーザーに連絡する

Content ID

Content ID は、映画会社、レコードレーベル、著作権等管理団体、サービスプロバイダーなどの最も複雑な著作権管理ニーズがあるパートナー向けのソリューション

YouTube における著作権問題の **98% 以上**は、通知して削除するプロセスではなく、Content ID を通じて処理

権利者は、Content ID の全申し立てのうち **90% で収益化すること**を選択し、新たな収益源を多数獲得。



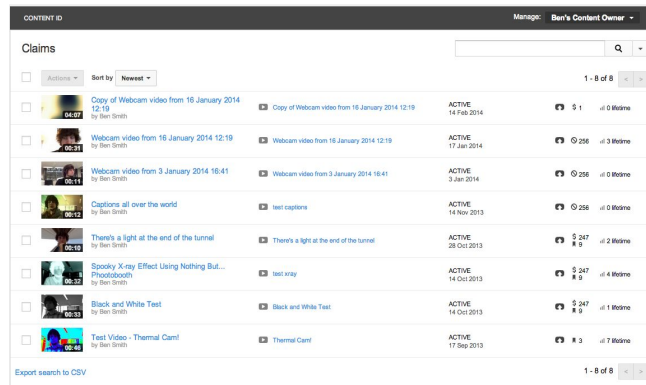
Content ID の仕組み

コンテンツ所有者



創作物をアップロード

視聴者がアップロードした動画のブロック、追跡、収益化



YouTube

参照ファイル

メタデータ、ポリシー

フィンガープリントの生成

Content ID データベース

著作物の照合とポリシーの実行

フィンガープリントの生成

視聴者



視聴者が動画をアップロード

Content ID の効果

YouTube の著作権透明性レポートでは、著作権への対応をツールごとに、また無効なリクエスト、不正使用、不適切な申し立てなどを内訳ごとに表示

1. 2022 年下半期の Content ID の申し立ては **8 億 2,600 万件**を上回り、そのうち異議申し立てに発展したのは **0.5% 未満**
2. Content ID に関する異議申し立ての **60% 以上**が、申立人が自発的に申し立てを取り下げたか、異議申し立てに対して期限内に応答しなかったため、アップロードしたユーザーに有利な形で解決
3. 2022 年下半期には、権利者は Content ID の全申し立てのうち **90% 以上**について収益化することを選択



対価の妥当性と公平性 - 3

- 権利者が適正な報酬を受け取ることができるように努めている
 - すべての主要なレーベルや著作権管理団体などとライセンス契約を締結し、音楽作品の使用を管理し、YouTubeでより多くのユーザーへのリーチと収益をあげられるよう協力

適切な競争関係 - 1

- 責任あるデジタルプラットフォームサービス事業者として
 - パートナーから提供された所有権データを活用して権利者の利益を保護し、このデータに基づいてロイヤリティを支払い
 - YouTubeで作品を管理・コントロールするためのツールを、パートナーに提供
 - ユーザーの利益になるようにコンテンツのライセンスを長きに渡って確保し、著作権者、YouTubeのクリエイターコミュニティおよび視聴者の利益のバランスを追求

適切な競争関係 - 2

- 透明性が問題解決に向けての1つの鍵となるのではないか
- 権利者が受け取るロイヤリティに関する良い理解を得るためには、レーベルや著作権管理団体とその先のアーティストや作詞作曲家等の権利者間の透明性の実現も重要

アジェンダ

1. YouTube について
2. 論点について
3. 質疑応答